

普及項目	その他
漁業種類等	-
対象魚類	-
対象海域	有明海、八代海、天草西海

## 水産普及活動情報の発信

水産研究センター企画情報室・森下 貴文

### 【背景・目的・目標（指標）】

現場で活動する普及指導員の活動情報は、水産施策上、非常に重要な情報源である。関係機関が現場の状況を把握し、本県水産業の振興に係る施策に反映させていくには、普及指導員の活動情報を県関係機関に迅速かつ効率的に伝えていく必要がある。

そこで、昨年度は、各広域本部水産課の普及指導員が、水産研究センター企画情報室に提供した活動情報を水産普及活動情報としてとりまとめ、関係機関に庁内メールシステムにより情報を発信した。今年度は、この方法に加え、迅速かつ効率的な情報共有体制を構築することを目的とした。

### 【普及の内容・特徴】

令和4年（2022年）7月までに水産普及活動情報3報をとりまとめ、関係機関に庁内メールシステムを用いて情報を発信した。その内容は、二枚貝の増養殖技術の普及や試験、漁業士会活動への支援であった。

その後、新たな取組みとして、関係機関と協議の上、庁内ネットワーク内に水産関係者のみが閲覧可能なクローズドの「水産局情報共有」を開設し、迅速な情報共有体制の運用を開始した。

### 【成果・活用】

「水産局情報共有」では、あさりの現地調査やノリ養殖に係る栄養塩調査などの情報について、迅速に情報共有することができた。

一方、業務効率化のため、これまで作成してきた水産普及活動情報のとりまとめを休止したところ、成果のとりまとめまでに時間がかかる活動についての情報共有が疎かになることが分かった。

そこで、次年度以降、調査などの迅速に情報共有できるものは「水産局情報共有」、それ以外の中長期的な成果については、水産普及活動報告により情報共有していく予定である。

### 【達成度自己評価】

4 目標（指標）はほぼ達成できた（76～100%）

## 水産普及活動情報（R4-03）





<b>名 称</b> 砂川のシジミ食害生物調査（松橋小川漁協）		
<b>発信元</b> 県南広域本部水産課（担当者：川崎） TEL：0965-33-3625		
<b>1 背景</b> 県南広域本部水産課管内の松橋小川漁協では、例年、春と秋に砂川のシジミの一般開放を実施している。 しかし、令和2年7月豪雨以降、大雨による淡水化の影響などにより、シジミの資源が減少している。また、漁場ではシジミの殻の破片が確認されており、魚類の食害の影響も資源減少の一因と考えられた。そこで、松橋小川漁協が特別採捕許可を取得のうえ、刺網による食害生物の調査を実施したため、その指導を行ったもの。		
<b>2 概要</b> <ul style="list-style-type: none"><li>○調査は、令和4年（2022年）5月17日と6月30日の2回、砂川の河口域で実施。</li><li>○調査日の前日、高さ1m×長さ20m、目合4.5cmの刺網（3枚網）を設置。</li><li>○5月17日の調査では、クロダイ10数尾、スズキやボラ数尾を漁獲。クロダイ2尾を水研に持ち込み、胃内容を調査したところ、その1尾からシジミの殻の破片や消化されつつある軟体部を確認した。</li><li>○また、6月30日の調査では、クロダイ33尾（全て全長30cm以上の大型のもの）、ボラ1尾を漁獲。設置した刺網の上流部には、シジミの殻の破片が散乱しており、シジミへの食害を確認した。</li><li>○クロダイによるシジミへの食害が確認されたものの、シジミは順調に生息しており、秋には一般開放できる程度のシジミ資源を確保することが可能と思われた。</li></ul>		
 <p>調査場所</p> <p>調査日時：2022.6.30 12:30～ 調査人員：松橋小川漁協 中村組合長他数名 県南水産課 川崎</p>		
<b>図1</b> 調査位置図		
 <p>図2 クロダイの胃内容物 (5/19)</p>	 <p>図3 漁獲されたクロダイの一部 (6/30)</p>	 <p>図4 生残が確認されたシジミ (6/30)</p>

図 水産普及活動情報の一例